

北海道情報大学学内報



NANAKAMADO



▲ 体育祭

● 目 次 ●

北海道情報大学7年の歩み 松尾理事長……	2	教務・学生課より……	7
大学院・通信教育部開設記念祝賀会……	3	平成8年度公務員試験対策講座……	7
平成8年度体育祭……	3	6～9月主要行事……	8
ゼミナールちょっと拝見……	4	広報活動……	8
CLUB自慢……	5	編集後記……	8
大学組織図……	6		

発行・北海道情報大学
 〒069 江別市西野幌59-2 TEL011-385-4411 FAX011-384-0134



北海道情報大学7年の歩み

理事長 松尾三郎

本年4月、大学開学から7年を経て大学院が開設されたことは、本学にとって極めて重要な前進であり、これをもって情報社会の大学として完全な教育システムの形態を整えたと言っても過言ではありません。私どもがこれまで推し進めてきた情報社会における教育への取り組みとその努力が認められ、情報教育の先駆者としての地位を不動なものとしたわけであります。

かねてから申し上げているとおり、私どもはわが国に情報社会が上陸して以来、急テンポで進展する情報社会の要請に応えるべき人材の育成と、真の情報社会に対応した教育の創造と確立を目指し、一貫して努力をしてきました。それは、昭和43年の専門学校ネットワーク作りに始まり、平成元年4月の工業社会における概念を越えた北海道情報大学の開学、平成6年4月のわが国初の衛星通信を使用した本学通信教育部の開設、そして本年4月の大学院の設置であります。この7年間は本学にとって基礎作りの時代であり、また、飛躍の7年間でもありました。

経営情報学部は平成5年3月に初めての卒業生を世に送り出し、今年で4期生までを輩出しております。卒業生諸君はそれぞれの職場において、本学の卒業生である自覚と自信を持って一生懸命努力されていると思います。また、教育内容も順次、社会の3年先、5年先を目指し、その充実が図られ、情報革命にふさわしい内容となり、かつまた、研究も高いレベルで進んでいるものと確信しております。

次に通信教育部であります。時代を先取りした画期的な教育システムをもって、また、新しい教育革命の担い手として平成6年に開設されたものであります。本学通信教育部は、他大学の通信教育部とは全く異なり、通信衛星とISDNによる双方向システム、また、CAIシステムを取り込んだ効率的、効果的な授業を実現しております。また、もう一つの大きな特徴は、専門学校(教育センター、サブセンター)との協力であり、併学制度であります。学生は、専門学校の生徒でもあり、受信局のある専門学校で大学の授業を受講し、卒業時には学士号を授

与されます。その入学生の推移は、869名、1,271名、1,385名と、順次増加してきており、教育センター、サブセンターの数も17校となっております。このことは、本学通信教育部の目的とその使命が全国レベルで理解され、普及してきたことに他なりません。今後最も重要なことは、平成10年3月の第一期卒業生が、産業界を始め、あらゆる分野で大きく活躍できるように学生を教育・育成することであります。

本学通信教育部はわが国の遠隔教育の先達であります。このことは、放送大学が平成9年秋からの通信衛星を利用した放送授業の開始、また、文部省がその実現に力を注いでいる国立大学33大学による遠隔授業の今秋から試験運用からも明確であります。遠隔授業による合同授業や共同研究が可能となり、また、私立大学との授業交流や単位互換がより推進され、わが国の教育水準は今まで以上に高度化が図られるものと期待されております。教育界のこのような流れの中にあつて、北海道情報大学は常に時代の1歩先をいく大学としてその使命を全うしていくことが不可欠であります。

最後に大学院であります。開学以来7年間を経て開設できたことはすばらしいことであり、ここに学部・大学院の一貫教育・研究の体制が整ったこととなります。情報社会における真の教育とは、これまでの工業社会の考え方から完全に脱却し、付加価値の高い情報社会という新しい考え方にに基づき、自由な発想と国際性、創造性豊かなリーダーシップを身につけた人材を育成するためのものであり、大学院の使命はますます重いものとなってきています。本学大学院はわが国の第2次情報革命を教育・研究面から大きく押し上げ、着実に前進させていくものであります。

以上、述べてきたように、北海道情報大学はわが国の情報化、国際化の潮流の中にあつて、21世紀を担う人材の育成に努力し続けてきました。これからも教職員一丸となって明日の日本を築く大学としてその使命を全うすべく邁進し続けることを固く心に誓うものであります。

大学院・通信教育部開設記念祝賀会を挙行

平成8年6月11日(火)本学体育館において、北海道情報大学大学院・通信教育部開設記念祝賀会が挙行されました。当日は、天候に恵まれさわやかな初夏の風の下、祝賀会には道内の私立大学、企業及び全国各地の高校関係の来賓を中心に約200名が出席されました。

また、祝賀会に先立ち、午前10時30分から11時20分まで、北海道情報大学、国際交流センター及び北海道情報技術研究所等の施設見学が行われました。施設見学の後、若干の休憩をはさみ午前11時30分に祝賀会が始まりました。

最初に、松尾理事長が大学院並びに通信教育部の設置の趣旨等について挨拶を述べられました。

続いて、木下学長が教育理念と方針等について挨拶をされました。次に、来賓を代表して日本私立大学協会北海道支部の森本支部長がご祝辞を述べられました。

そして、柳川前参議院議員のご発声により祝杯

を挙げていただき、祝宴に入りました。

祝宴の頃合いを見はからって、堀北海道知事ほかの祝電披露があり、その後、平尾酪農学園大学長、杉本札幌学院大学長からお祝いのスピーチをいただきました。



祝賀会は、終始なごやかな雰囲気でご歓談が進み、13時00分小川江別市長のご発声により乾杯が行われ、祝賀会を無事に終了しました。

第7回体育祭 行われる

体育祭を終えて

第7回体育祭実行委員長 米澤 卓治

今年の体育祭は6月26日、27日の両日に行なわれ、天気にも恵まれて無事終える事ができました。今年は準備期間が約2週間と非常に短く、PR不足もありましたが、実行委員の面々は、行事運営に対して全くの素人の僕を一生懸命がんばってサポートしてくれました。最後に体育祭にかかわったすべての人々に「ありがとう」と感謝の気持ちを述べたいです。



結果報告

◇第7回情報大体育祭結果報告◇

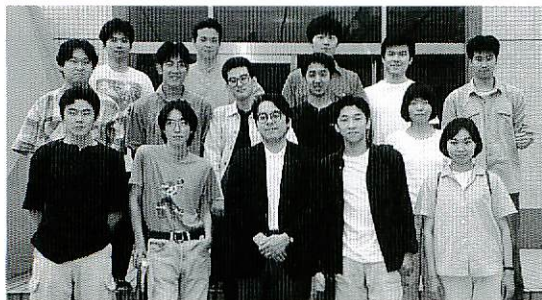
総合優勝 1B

総合2位 1C

総合3位 2D

☆各種目別順位☆

- | | |
|----------------|-----------|
| ○バレーボール | ○バスケットボール |
| 優勝 K1 | 優勝 1B |
| 2位 J2 | 2位 2B |
| 3位 1A | 3位 J1 |
| ○サッカー | ○ドッジボール |
| 優勝 1B | 優勝 2D |
| 2位 2D | 2位 1C |
| 3位 K2 | 3位 1A |
| ○ソフトボール | ○綱引き |
| 優勝 J3 | 優勝 2C |
| 2位 1C | 2位 J2 |
| 3位 2D | 3位 J3 |
| ○障害物リレー決勝出場チーム | |
| K1・1C・J1・1B | |



大西ゼミナール

匿名希望 18才
 私たち大西ゼミでは、環境問題について取り組んでいます。具体的な研究内容は、まずはじめに環境管理・監査や生命論などといった専門的な事をやってから、次にそれらをもとにして、環境に対する理想的な社会システムを考えていくというものです。

このような説明を聞くと難しそうに思われるかもしれませんが、やっぱり難しいのです。実際に研究している私たちも、「自分たちが考えつくようなアイデアなら、とっくに偉い専門家だって考えついているだろう」とブツブツ言いながら足りない脳みそをフル回転させてがんばっている次第です。

それでも何も考えないよりは100倍ましだとむりやり思いこんでいますし、何か考えないと単位をもらえそうにないので、とりあえずみんなで意見を出しあって毎週熱いトークをくり広げています。

その熱いトークが行き詰まってしまうことも度々あります。その時に助けてくれるのが大西先生その人なのであります。大西先生はとてもいい先生です。なにも単位のためにこの様な事を書いているわけではありません。字数があまってしまって書いているのでもありません。本当に書かずにはいられなかったのです。どの様にいい先生かは直接本人に会って確かめてください。



中村ゼミナール

「The 中村ゼミ」

4年 大野 浩志

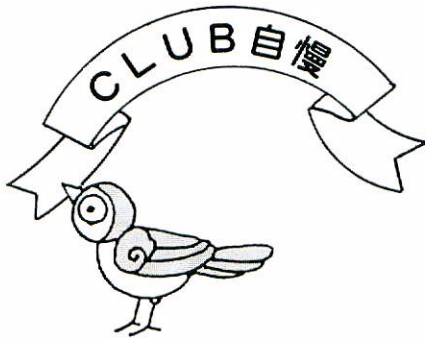
コンニチワ。

私たちの中村ゼミはCGグループとNeuroグループの2グループから成り立っています。

CGグループは、その名のとおりコンピュータグラフィックをしています。主にUNIXワークステーション上で作業をしています。既存のCG作成ソフトに足りない機能、新しい機能を加えて、より使いやすく多機能なものにしたり、CGのプロが使うソフトを使用し、高度な技術を身に付け完成度の高いCGを作成しています。最終的にはJava言語を使用してインターネット上に今までの成果、作品を公開することを考えています。お楽しみに!!

Neuroグループは、ニューロコンピューティングを学んでいます。つまり脳の働きをプログラム化してしまおう!ということをしています。例えば「くねくね」や「ジグザグ」といった似た様な動作をコンピュータに認識させるようなプログラムを組んだりしています(これはごくごく一部)。脳の勉強って「No~!」と叫んでしまうぐらい難しいけど、みんなその奥深さにのめり込んでしまふんだよね。最終目標は「2001年 宇宙の旅」のHAL(多分みんな知ってるよね)の開発かな? それじゃバイバイ。





男女バスケットボール部



キャプテン 小森 貴幸

現在バスケ部は男子18名、女子5名、マネージャー6名で活動しています。部員はみな個性ある人ばかりで、性格のあわない人たちが多い様です。しかしバスケという共通点でかろうじて結ばれており、なかなか良い成績をあげる事が多いのです。過去を振り返ると、2部リーグ優勝を始め、地区大会3位になるなど、すばらしい成績を残しているのです。ただそれは過去の栄光であって、最近では低迷がちでした。しかし今年は地区大会ベスト8に入るなど強さが復活してきています。これから行なわれる全道リーグでも上位入賞できると信じています。

成績の事ばかり書いたので、ここで少し、部員紹介をします。しゃべりが美川憲一な女子部キャプテンK元さん。自称バスケ部エースA有君。変なTシャツばかり着ているH口君。卒業がかなりやばい前田ゼミトリオ、I崎君。U山君。H口君。極道I川君。マクドナルドの制服を私服化しているO山君。それらをまとめる偉い人・K森君。などなど…。

最後に部員に一言。「部活さぼるな、練習遅刻するな、もつとまとまれ。」

RAS Company / 部



代表 水口 弘一

我々、RAS Company / は、去年まで存在した「自然を親しむ同好会」を母体として、部に昇格したサークルです。部として始まった今年は、何もない所からの出発と同じなので必要なものがまだまだ多数ありますが、今年入部した1年生とも話し合い、サークル仲間のみんが楽しくやっていけるようにがんばっているところです。

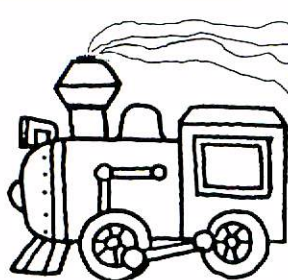
「いったいRAS Company / とはどういう意味?」「何をやっているのか?」「いつやっているのか?」と思う人が多数いると思います。ならばこのチャンスに書かせていただきます。RAS Company / とは、River and Sky Company / =川と空の仲間という事です。川と空とは、海も含んだ自然の事を示しています。要するに森の中で、海で、川面で色やにおいや自然の気持ちを、サークル部員がそれぞれに感じながらアウトドアスポーツを楽しんでいるサークルです。又、活動は年に4回しかしていません。なぜなら、どうしても休日などにしか活動できないからです。これで何となく、RAS Company / とは何をすることで、わかりつつあると思います。共感できた人は仲間として楽しみましょうか。最後にこれだけはわかって欲しいと思います。これというのは、「自然と仲間は大切に!!」ということです。



原稿募集

クラブ紹介や、部員募集に活用してみませんか?

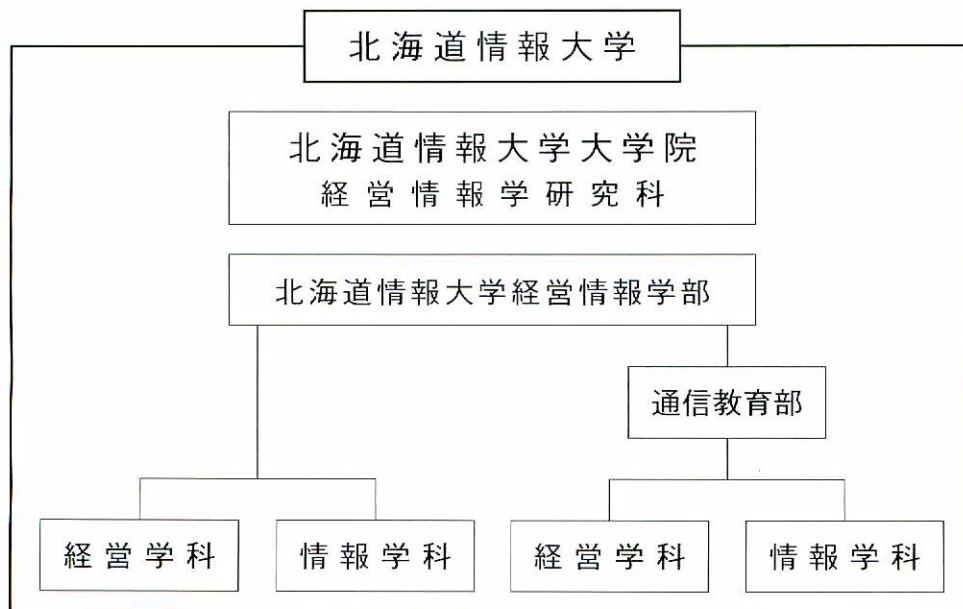
—— 詳しくは図書室まで ——



知っていますか？

私たちの大学
北海道情報大学のこと

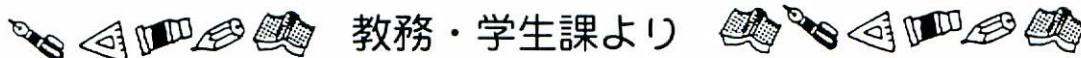
《教育研究組織図》



北海道情報大学（HIU）は、経営情報学部と平成6年からスタートした通信教育部、さらに平成8年度から新設された大学院を有しています。

HIUは、大学の通信教育部としては我が国で初めて「経営情報学」の通信教育を開設した大学です。通信教育部には、経営情報学部と同様に、経営学科と情報学科が置かれています。そこに所属する学生は、正科生Aと正科生Bと呼ばれる学生がいます。正科生Bは指定の専門学校とのダブルスクールで受講する学生です。つまり、専門学校の単位を取得しつつ同時に大学の単位も取得し、専門学校の卒業資格と大学の卒業資格の両方を得るコースです。正科生Bが通っている本学指定の専門学校（教育センターと呼びます）は、現在のところ札幌、仙台、新潟、水戸、千葉、山梨、静岡、名古屋（2校）、大阪、兵庫、岡山、広島、北九州、福岡、大分、鹿児島島の17ヶ所です。

それに対して正科生Aは通信教育だけを受講する学生です。正科生Aの学習は印刷授業（教科書・テキストによる自主学習）と面接授業（各教育センターや本学で行われるスクーリングでの講義の受講）によって行われます。正科生Bの場合、印刷授業と面接授業に加えて、放送授業（衛星通信を用いたリアルタイムの講義）を受けることができます。



☆掲示について

校舎棟及び本部棟1階に掲示板を設置しています。大学から学生諸君への通知・連絡は直接口頭で伝達する以外は、すべてこの掲示板で行います。いったん掲示した事項については、すべて周知のものとして取り扱いますので、特に授業・試験・成績等、修学上の事項については十分注意して下さい。掲示を見なかった為に試験を受けられなかったり、レポートを提出できなかったり、その他多面にわたって不利益をこうむることが有り得るので、常に掲示を見る習慣を身につけること。(掲示は原則として1週間で取り外す。)

☆電話・住所の問い合わせ

及び呼び出しについて

大学では学生の住所や電話番号の問い合わせ、ならびに呼び出しに対しては、誤解が生じやすいため原則として応じていません。このことは、家族の方にも伝えておくようにして下さい。

☆窓口取り扱い時間について

平日 9:00~17:00 (12:55~13:45は閉鎖)

ただし、手数料を必要とする手続きについては、月末日は12:00までである。なお、長期休業期間及び定期試験期間等は閉鎖時刻を変更することがあります。

☆各証明書等手続きについて

各手続きには、下記のとおり手続日(期限)がありますのでご注意下さい。また、窓口の取り扱い時間を厳守して下さい。

《主な届・願・証明書等の手続き》

※学生課

名 称 (用件)	手続(期限)
通学証明書(JR、札幌市営交通以外)	前日
H I Uカード(紛失・破損等)	そのつど
学生証	前日
(通学定期乗車券)身分証明書	前日
在学証明書	前日
健康診断証明書	前々日

※教務課

名 称 (用件)	手続(期限)
履 修 届	指定日
追試験受験願	指定日
再試験受験願	指定日
成績証明書	前々日
卒業見込み証明書	前日
卒業証明書	前日

※書類の交付は発行日(上記参照)の午後からとなりますので金曜日の手続き分は次週の月曜日の午後となります。

平成8年度公務員試験対策講座および 公務員試験ガイダンスの開催について

就職委員会

今年も8月3日(土)から8月15日(木)までの13日間にわたり、公務員試験対策講座が開講されました(行政法・会計学は別日程)。本年度は開講科目を昨年の17科目から基本重要科目の9科目に減らし、一科目に費やす時間をほぼ倍増して日程を組みました。また、7月6日(土)には、講座に先立ち、卒業生を代表して古家悦子氏(平成8年卒・現江別市役所水道部勤務)、また現職消防官の斉藤博士氏(札幌市消防士長・北海学園大学大学院法学研究科修士課程在学中)の両名をゲストに迎え、公務員試験ガイダンスを行いました。古家氏からは自らの体験を踏まえ、試験に対する心がまえや試験勉強の仕方等のアドバイスをいただき、斉藤氏からは公務員の待遇(とくに給与体系)

の移りかわり、消防官・自衛官等の職務内容、一次合格後の受験手順の他、公務員でなければ知らない有益なお話をいただきました。

本年度は、卒業生ながら札幌市役所一次合格者(国Ⅱ・国税専門官も一次合格)も出ましたが、卒業生と比べると、在校生の公務員希望者の現状認識の甘さは目を覆わんばかりです。

今後も、皆さんの声を反映して講座の充実を図っていきたいと思いますが、皆さんのより一層の奮闘努力を願ってやみません。(8月8日記)



◆◇ 6月～9月主要行事 ◆◇

- ☆ 大 学 ☆
- 6月10日(月) 創立記念日
- 14日(金) 教授会
- 26日(水) 体育祭
- 27日(木) //
- 7月12日(金) 教授会
- 9月13日(金) //

- ☆ 通信教育部 ☆
- 6月21日(金) 地方スクーリング
- ～23日(日) 地方スクーリング
- 7月12日(金) 地方スクーリング
- ～14日(日) 地方スクーリング
- 22日(月) 前期放送授業科目試験
- ～26日(金) 前期放映終了
- 26日(金) 前期放映終了
- 8月5日(月) 本学夏期スクーリング
- ～24日(土) 本学夏期スクーリング
- 9月5日(木) 前期印刷授業科目試験
- ～8日(日) 後期放映開始
- 9日(月) 後期放映開始

- ☆ 法人本部 ☆
- 6月11日(火) 大学院・通信教育部
開設記念祝賀会
- 7月26日(金) 講演会
「アジアにおける最新の情報化動向について」
(財)国際情報化協力センター (CICC)
振興部長 河野 方美 氏

◆◇ 広報活動 ◆◇

1. TVコマーシャル
UHB 8月1日～9月15日
HTB 8月1日～9月15日
(上記期間放映致しました)
2. 今後の進学相談会
10月5日(土) 東京
新宿エルタワー 13階
9日(水) 静岡
ホテルアソシア静岡ターミナル 3階
12月13日(金) 福岡
西日本新聞会館 16階
14日(土) 札幌
北海道経済センター 8階
名古屋 栄町ビル 11階
17日(火) 広島 並木パラスト 5階
21日(土) 大阪 OMMビル 2階

郵政大臣から感謝状

平成8年6月6日 眞野 脩教授に、
為替貯金制度の普及と事業の発展に多大
な貢献と尽力されたことに対し郵政大臣
から感謝状が贈られました。

編 集 後 記

今年は暑くならないまま夏が終わってしまいそうな気配です。そういえば、しばらく“快晴!!”という青い空も見えていないような気がするなあー。それでも、大学は夏休みに入って、通信教育部のスクーリングや公務員講座の真っ最中です。皆さんの夏休みは、いかがでしたか？

「ななかまど」第2号を手にする頃はすっかり秋も深まって、オリンピックやO-157も過去のことになっているでしょうね。その頃私は、遠くカナダの地で、慣れない生活に四苦八苦していることでしょう。

「ななかまど」は皆さんの学内報です。面白いトピックや掲載してほしいことなどの御意見をお寄せ下さい。編集委員(平子・伊藤・大島・図書室の3名)一同、お待ちしております。(O)

北海道情報大学学内報	
「ななかまど」第2号	
発行日	平成8年10月1日
発行	北海道情報大学
編集	学内報編集委員会